

環境・省エネ技術の海外への技術移転の現状、並びに
既実施設備の更なる効率的な活用、及び
より効果的な新規技術移転に関する調査研究

(報告書の概要)

調査の対象を『モノ作りのエコアイディア』技術に限定し、『エコアイディア商品作り』の技術移転は除く方針で調査研究を行った。また技術分野の類型としては以下の3つのタイプに分けて調査分析を行った。

- 電力や鉄鋼のような大規模、大容量の本体設備に関する技術移転
- 家電のような比較的小規模の機器・装置を大量・均質に生産するための技術移転
- 多様な生産プロセスの一部を構成し、本体設備から排出される固体、液体、気体、排熱等の処理を一品料理的に処理する単体産業プラントに関する技術移転

結論としては、技術移転の基になるこれまでの技術蓄積は、団塊世代を中心とするベテラン技術者に負うところが極めて大きく、彼等の有効活用と若手への世代間技術移転、国家的な技術基盤の育成・整備を提言した。

(報告書の主要構成)

- (1) はじめに
- (2) 海外への技術移転の現状
 - ①産業プラント分野
 - ②鉄鋼分野
 - ③電力分野
 - ④家電分野
 - ⑤食品分野
 - ⑥各種団体の活動例
- (3) 業種横断的な課題
 - ①的確な現地診断業務
 - ②団塊世代以降の技術力の確保
 - ③中国との対応
 - ④国際貢献に対する日本への見返り
 - ⑤技術漏洩問題
- (4) 提言及び留意点
- (5) おわりに